

アルミホイールを正しく・安全にご使用いただくために

販売店様及びこのホイールをご使用いただくお客様へ

お取付・ご使用前に必ずお読みいただき、注意事項をお守り下さい。

このアルミホイールは「軽合金製ディスクホイールの技術基準(乗用車用にJWL、トラック・バス用にJWL-T)」に適合し、更に「自動車用軽合金製ホイール試験協議会」の厳格な品質・強度再確認試験に合格し、VIAマークをあたえられていますが、安全維持及び性能維持の為に下記の内容を守ってご使用下さい。

- △危険：取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う危険性が極めて高い内容です。
- △警告：取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性がある内容です。
- △注意：取扱いを誤った場合、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性がある内容です。

ホイール選択時の注意

- △注意 ■ ホイールの**サイズ・インセット・取付孔数・P.C.D.・取付面形状等**が、装着する車両に適合することを必ず確認して下さい。これらが不適合ですと正しく車両に装着できません。また、**ホイールのサイズ**が装着される**タイヤのサイズと適合**することを必ず確認して下さい。ホイールのサイズとタイヤのサイズが適合しない場合、タイヤの性能を損なう、もしくはタイヤが故障する恐れがあります。
- △注意 ■ **同一車軸には同一サイズ、同一品種のホイールを選定し装着**して下さい。異なったホイールを装着しますと車両の操縦安定性を損なう恐れがあります。

リム組み時の注意

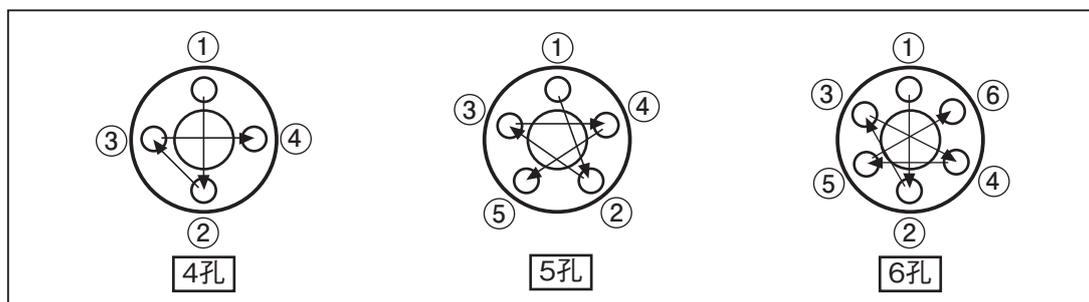
- △注意 ■ バルブは付属の**専用バルブ**をご使用下さい。専用バルブ以外のバルブを使用しますと、寸法・形状の不適合によりバルブ孔からの空気漏れの原因となることがあります。クランプイン・タイプ(ナット締め)のバルブでは、ナットの締め付けトルクは別途指定された締め付けトルク、指定が無い場合は1.5～2.5N・m(15～25kgf・cm<0.15～0.25kgf・m>)で締め付けて下さい。また、**タイヤ交換時には新品の専用バルブに交換**して下さい。古いバルブはパッキン等のゴムが劣化し、空気漏れの原因となります。尚、バルブコア(ムシ)はバルブに付属しているものをご使用下さい。バルブコア(ムシ)のみを交換する際は、付属しているものと同一形状のもの(ショートタイプ)をご使用下さい。
- △注意 ■ タイヤとホイールのリム組み時には、**リム形状に合致したリム組み方法**(ノーマル形状はディスク表面を上セット、リバース形状はディスク表面を下セット)にて、タイヤのビード部及びホイールのフランジ部にブリヂストン推奨の**潤滑剤を塗布**し、タイヤのビード部及びホイールのフランジ部に傷がつかない様にリム組みして下さい。
- △危険 ■ 空気充填は**安全囲いの中等**において、**ビードシーティング圧300kPa(3.0kgf/cm²)以下にて実施**しビードフィットが周上均一であることを確認後、使用空気圧を車両メーカーの推奨値にセットして下さい。尚、空気充填は、必ずバルブコア(ムシ)を装着した状態で行って下さい。
- △警告 ■ 空気を充填後、バルブキャップを取付ける前に、バルブコアからの空気漏れ、リム部やタイヤとリムのかん合部(ビード部周辺)、バルブまわりからの空気漏れがないことを確認した後、**必ずバルブキャップを装着**し、しっかり締め付けて下さい。
- △注意 ■ 異常振動・偏摩耗を防止するために、ホイールバランスは必ず調整下さい。

ホイール取付け時の注意

△警告 ■ ホイールナットあるいはホイールボルトは別売りの**ブリヂストンのホイールナット及びホイールボルト**を使用して下さい。尚、一部のホイールにつきましては、車両純正のホイールナットあるいはホイールボルトをご使用いただくものや、同梱の専用ホイールナットあるいはホイールボルトをご使用いただくものがありますので、その場合は、ホイールの仕様に適合したホイールナットあるいはホイールボルトをご使用下さい。ホイールのナット座には60度テーパ座、球面座、及び平面座があり、この形状が異なると適切な締め付けができず、走行中にホイールナットあるいはホイールボルトが緩んで外れる等大変危険です。取付け前に**ホイールの取付座面形状とホイールナットあるいはホイールボルトの形状が合致すること、及び車両のハブボルトとホイールナットのネジ径・ネジピッチ・ネジ長さが合致すること**を必ず確認して下さい。尚、スペアタイヤを取付ける際には、車両メーカーの純正ホイールナットあるいはホイールボルトを使用して下さい。

△警告 ■ 車両の取付面及びハブボルトに**錆・異物の付着、損傷等がない**ことを確認して下さい。錆・異物等が付着している場合はそれらを除去し、傷、損傷が大きな場合には新品のハブボルトに取替えて下さい。また、ハブボルト及びホイールナットのネジ部にはグリス等の油脂を塗布しないで下さい。グリス等を塗布しますと締め付け力が保持できなくなる恐れがあります。

△警告 ■ ホイールナットあるいはホイールボルトの締め付けは、まず**下図の方法にて仮締め**を行い、その後**トルクレンチ**を使用して、**車両メーカーの規定トルクで均等に締め付け**て下さい。インパクトレンチによる締め付けは、締め過ぎや、傷、変形の原因となりますので避けて下さい。



尚、ホイールナットあるいはホイールボルトの締め過ぎは、ホイールのナット座・ハブ孔の変形及び車両のハブボルト、ホイールボルトの損傷などの原因となり、また締め付け不足はホイールナットあるいはホイールボルトの緩みや外れの原因となりますので注意して下さい。

△警告 ■ 車両の取付面にビス、ピン及びゴムカバー等が突出している車両、また、ハブボルトの根元が段付きで太くなっている形状及びハブボルト根元にワッシャーが組み込まれている車両に装着される場合、これらの**凸部がホイールの取付面に干渉しない**ことを必ず確認して下さい。

△注意 ■ 車両への取付け時に**スペーサーを使用しない**で下さい。スペーサーを使用しますとホイールナットあるいはホイールボルトのネジ山のかかり代が短くなること、及びホイールと車両の取付面の密着不良等により、ホイールナットあるいはホイールボルトの締め付け力が低下する恐れがあります。

△警告 ■ ハブカラーをご使用の際には、ホイールのハブ孔径と車両のハブ径を確認し、**適合するハブカラーを選定**して下さい。ハブカラーを装着する際は、**ハブカラーをホイールに装着し、取付面から突出しない事**を確認の上、車両に取付けて下さい。尚、スペアタイヤ及び車両メーカーの純正ホイール等をご使用の際は、必ず**ハブカラーを車両から取外し**て下さい。ハブカラーが車両のハブに装着されたままですと、スペアタイヤ及び車両メーカーの純正ホイール等を装着した際、ホイールの密着不良による振動や走行安定性が損われたり、ホイールナットあるいはホイールボルトの締め付け不良によるホイールナットあるいはホイールボルトの緩みや外れの原因になります。

△警告 ■ タイヤ・ホイールやホイールキャップ及びホイールナット、ホイールボルトが**オーバーフェンダー（はみ出し装着）**しないことを必ず確認して下さい。車体からの**はみ出し装着**は法令で禁止されており、公道走行はできません。

△警告 ■ 車両に装着後、ハンドルを左右いっぱいにきって**車体との接触がない**ことを必ず確認して下さい。

ホイール取付け後及び走行中の注意

△警告 ■ 装着初期やタイヤ・ホイールの位置交換後は、ホイールナットあるいはホイールボルトが緩む場合がありますので、**50～100km走行後、車両メーカーの規定トルクにて増し締め**を行って下さい。また、定期的にホイールナットあるいはホイールボルトの緩みがないか点検を行って下さい。

△警告 ■ 走行中に、走行不安定または異常な音及び振動を感じた時には、すみやかに安全な場所に停車して、**ホイールナットあるいはホイールボルトの緩みやホイールの変形及びタイヤ、車両を点検**して下さい。

△注意 ■ 道路の縁石等への接触は、タイヤ・ホイールを傷つける恐れがありますので避けて下さい。

△注意 ■ 道路の縁石など凹凸への乗り上げ、乗り越しは、ホイールを損傷させる恐れがありますので、十分速度を落として下さい。

△警告 ■ **急発進・急制動及び急旋回**はタイヤ・ホイールを傷つける恐れがあり、また**大変危険**ですので避けて下さい。

△注意 ■ **過積載**はタイヤ・ホイールの損傷につながりますので、過積載でのご使用は避けて下さい。

△注意 ■ タイヤチェーンや類似商品を使用する場合は、チェーンでホイールを傷つける恐れがあります。

保管・手入れに関する注意

△注意 ■ アルミホイールは**塩分や土等が付着すると腐食しやすい**ので、海辺や雪路及び悪路等走行後は**十分水洗い**した後、柔らかい布等で**水滴を残さず拭き**とって下さい。

尚、市販のホイール・クリーナー、ワックス等の中には、ホイールの塗装やセンターキャップ等の樹脂部品を変色、ひび割れなど、劣化させるものがありますので、説明書をよく読んで使用可否を判断して下さい。

△注意 ■ 洗車機（スチーム洗浄、高圧洗浄を含む）の使用は、ホイールに傷・変色が発生する恐れがあります。**お手入れは柔らかい布等**を用いて、なるべく**手作業**で行って下さい。尚、ホイールの角で手を切らないよう、注意して作業を行って下さい。

△注意 ■ ホイールを保管する際は、きれいに洗浄、乾燥させた後、**直射日光、雨及び水、油類の付着や高温・多湿の所は避けて**保管して下さい。尚、タイヤ・ホイールセットでの保管の場合は、接地部の変形をおさえる為、なるべく横置きに保管して下さい。また、空気圧を使用時の1/2程度に落とし、ホイールバルブにはバルブキャップを取付けて保管して下さい。

△注意 ■ 再度車両に装着する時には、タイヤの空気圧を補充し、点検とバランス調整を行うと共に、タイヤ・ホイールに傷、変形等がないことを確認して下さい。

その他の注意

- △危険 ■ 組み立て式 (2、3ピース) ホイールのリムとディスクの**分解及び組み立てボルトを緩めたり、増し締めは絶対に行わない**で下さい。分解及び組み立てボルトを緩めたり、増し締めを行いますと、ホイールの強度低下、変形等につながり、重大な事故を招く恐れがあります。
- △危険 ■ 変形や亀裂が生じたホイールの**使用及び修理・加工は絶対に行わない**で下さい。修理・加工はホイールに目に見えないひずみが発生したり、強度が低下し大変危険です。
- △警告 ■ 一般に**自動車が行かない場所での走行、レース・ラリー等の競技での酷使、及び違法改造車での使用は**、一般走行条件を超える過大な力が加わり、ホイールが故障する危険がありますので避けて下さい。

乗用車用軽合金製ディスクホイールの技術基準	トラックおよびバス用軽合金製ディスクホイールの技術基準	品質検査合格マーク
<p style="text-align: center;">JWL</p> <p>この基準は乗用車（乗用定員11人以上の自動車、二輪自動車及び側車付き二輪自動車を除く）用 軽合金ホイールに適用されている安全基準です。この技術基準に定められた試験を製造者自らの責任において行い、適合したものについてはJWLのマークが表示されます。</p>	<p style="text-align: center;">JWL-T</p> <p>この基準はトラック・バス用軽合金ホイール適用されている安全基準です。この技術基準に定められた試験を製造者自らの責任において行い、適合したものについてはJWL-Tのマークが表示されます。</p>	<p style="text-align: center;">VIA</p> <p>JWL・JWL-T基準に定める適合商品であるか否かを第三者公的機関の「自動車用軽合金製ホイール試験協議会」が確認するもので、JWL・JWL-T基準による厳格な品質・強度再確認試験に合格したものについてはVIA表示がされます。</p>